

初代グランプリは誰に！

THE WALK JAPAN 2023

全国目指し、50人が美と健康の歩き方競う

日本一美しく歩く女性を決めるコンテスト、THE WALK JAPAN(一般社団法人プロフェショナルウォーキング協会)が主催する。歩き方をコンセプトにしたコンテストは世界初となる。姿勢や歩き方を通して心身ともに健康になり、幸福度の高い社会を目指す。

関東エリア大会 1月7日 羽村市で



共に、年齢、ルッキズムにとられないボーダーレスな社会を啓蒙していくことが目的。

大会はBeauty部門身長159センチ以下、同160センチ以上に分かれ、歩き方の美しさや動きの正確さを審査。1次審査は規定ウォーク、2次審査は自分らしさを表現できるかなどを見、各部門からグランプリ、準グランプリの計4人を選考する。関東大会ではこのほかに特別賞を用意した。

エリア大会は全国11都市で開催され、各エリア大会の受賞者は来年3月15日に神戸メリケンパークオリエンタルホテルで開催される全国大会に進む。ダンスやダイエットのスタジオを運営する谷澤実行委員長は、ノイブルクイーン、グローバルアース、アジアパシフィックのミセスコンテストでグランプリを受賞している。コンテストを通し感じたのが、歩き方の大切さだったという。「美しく正しく歩くことで、姿勢がきれいになり健康につながる。今後は子どもたちの新しい習い事になっていくのでは」と話し、美しく歩くことが当たり前になる社会を西多摩地域から発信していきたいという。

関東エリア大会は15時間、16時間開演。S席5000円、VIP席1万円。スポンサー企業も募集中。詳しくはホームページで。女性の参加者募る定員まであとわずか1月青梅で婚活パーティー

元気の秘訣 母国に伝わる 秘伝の薬膳レシピ
場の泉
肉骨茶 650円
カレーハンバーグ 650円
042-588-4992
あきる野市伊奈486-13 営業時間:11時~15時
定休日:日曜日、月曜日、火曜日 HP 楊の泉 検索

日本キルギス、歌の旅人

2021年、歌手の三田りょう氏は羽村市より表彰された。キルギス共和国友好親善ボランティア大使として活動したことが理由。さかのぼること8年、三田氏は同国の独立22周年を祝うコンサートで、『風の旅人』を5万人を前に披露している。

歌手 三田りょう氏



「昭和一桁生まれの父は歌謡曲が好きで、カラオケもうまかった。中学校を出ると多西農協(現JAあきかわ)に入った。職場では有名なムードメーカーの出合いが僕の新境地を開いたかもしれない」

先代の仕事と教え

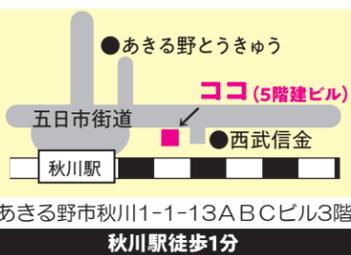
「1987年、キングレコードから『新潟慕情』でデビュー。歌謡界の荒波にもまれながらも、2000年に『哀愁フェリー』で日本有線大賞有線音楽賞を受賞。ずっと強く押ししてくれたのが父の光男氏

【岡村繁雄】

どこに行っても治らなかった方へ(3密対策を徹底)
秋川駅北口 (エアドック設置) 42年の実績
太田ハリ灸治療院
042(550)5591 完全予約診療(当日予約も可) 土日も診療
初診料 3,000円 治療費 3,500円 (学生2,500円)
坐骨神経痛、ヘルニア(腰、頸椎)、脊椎管狭さく、五十肩、ひざ関節症、肩こり、エルボ(テニス・ゴルフ)、湿疹、スポーツ障害など
坐骨神経痛=お尻から足にかけて痛み、シビレで歩くことが困難な方
あきる野市秋川1-1-13ABCビル3階 秋川駅徒歩1分
9688岡村まで。



「私が元気に大会に出場できるのは、痛めた腰・肩の治療を受けた、体のケアをしているからです」



国立市通じランドセル贈る

羽村市の会社会長の大和田さんから

善意に包まれたコンサート再開



ランドセルを贈る大和田さん(右)

羽村市に本社がある航空シート、鉄道シートや車載向け縫製事業を展開する㈱オオワダの会長を務める大和田龍之介さんは2017年から国立市の自宅でコンサートを開き、援助を必要とする家庭に市を通じランドセルを贈ってきた。コロナ禍

で中断していたが、12月3日、3年ぶりに開催。40人ほどの参加者の寄付を基に今回もランドセルを贈った。

「枯葉」などジャズナンバー5曲を軽快に披露し、喝采を受けた。

その後は米や野菜を生産する参加者から寄せられた食材などを使用した。



ペルー人の音楽グループ「ウイニヤイ」のフォルクローレ演奏

その後は米や野菜を生産する参加者から寄せられた食材などを使用した。

ファイナルは全員で「よしこの夜」を合唱し、思い出を刻んだ。

野口さんは500年続く農家の長男。家業を継ぐことは決めていたが、大学の理工学部に進み、卒業後は建築会社に入社。一級土木施工管理技士として活躍した。35歳のとき、父親が病に倒れ、本格的に就農。トマトのピニールハウス栽培に力を入れ、安心安全な農作物の栽培に専念。2018年には東京都GAPを認証取得した。

第56回内田農業功労章

緑綬功労章に松永さん、藤本さん、野口さん

一般財団法人内田農業振興会の第56回功労者表彰式が11月22日、府中市の大國魂神社で行われ、西多摩から青梅市の松永幸治さん(74)、瑞穂町の藤本昇さん(69)、日の出町の野口隆昭さん(66)が緑綬功労章に輝いた。

同功労章は故内田秀五郎翁の農業への熱意を受け継ぎ、農業の振興に功労のあつた人たちに贈られるもので、2022年度は緑綬功労章を13人、紫綬功労章を15人が受賞した。松永さんは学校を卒業後、家業の酪農と山林苗の生産に精力的に取り組んできた。1970年代後半から都市化の波が押し寄せ

家業の製茶業に従事。半世紀に渡り、特産の狭山茶の生産に携わってきた。77年ごろから新茶の早出しに取り組み、4月末ごろに商品として市場出荷するなど販売拡大にも貢献した。

都や関東ブロックなどの品評会では高い評価をもらい、何度となく都知事賞、農林水産大臣賞などに輝いた。90年度には企業の農業経営顕彰を受賞している。07年から13年間、東京狭山茶農業協同組合長を務め、狭山茶の発展に貢献した。



クニパンのジャズ演奏が響く

加者のボランティア精神に支えられ、6回を数えた。学生時代、バンド経験のある大和田さんは6年前にチェロを習い始めた。1年経ったころ、仲間と音楽パーティーを企画。やるなら意味があるものにしたと、市に相談。新入生を抱え、困っている家庭があることを知り、ランドセルを贈ることにした。



チェロの田中香帆さんと音楽家仲間の三重奏でクリスマスメドレーなどを楽しむ

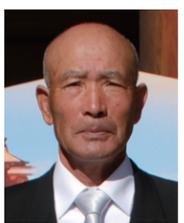
同功労章は故内田秀五郎翁の農業への熱意を受け継ぎ、農業の振興に功労のあつた人たちに贈られるもので、2022年度は緑綬功労章を13人、紫綬功労章を15人が受賞した。松永さんは学校を卒業



野口さん



藤本さん



松永さん

戸建住宅にお住まいの方 超高速インターネット光回線

ケーブルテレビは「テレビ」だけじゃない!

tnet光2.5G

最大通信速度 下り 約 2.5 Gbps / 上り 約 1.25 Gbps

初期設定 遠隔サポート 安心ポイント 出張訪問 0円!

最新情報

TCN 多摩ケーブルネットワーク 0428-32-1351

野口さんは500年続く農家の長男。家業を継ぐことは決めていたが、大学の理工学部に進み、卒業後は建築会社に入社。一級土木施工管理技士として活躍した。35歳のとき、父親が病に倒れ、本格的に就農。トマトのピニールハウス栽培に力を入れ、安心安全な農作物の栽培に専念。2018年には東京都GAPを認証取得した。

現在、トマトを3600本栽培するほか、町の新たな特産品を目指し、パッションフルーツの生産に力を入れている。

■ニュースサイト「東京25ジャーナル」は毎週土曜日に配信しています。東京25区管内を取材エリアに、政治、行政、経済、社会、トピックスを掲載していきます。配信継続のために広告協力金のご協力をお願いしています。問い合わせは090(8460)9688。題字下メー